



医療法人社団 あんしん会

# 四谷メディカルキューブ 減量外科をご受診される方へ

## 四谷メディカルキューブで治療を受けるメリット

### ①国内屈指のハイボリュームセンター、960例以上の手術経験数

経験症例数と手術死亡率・合併症発生率との間には明らかな関連があります。米国の研究により、年間手術件数が多い施設ほど合併症発生頻度の低い傾向が認められております。また、年間手術症例が100例以上の施設では、明らかに入院期間が短く、術後の合併症発生率ならびに死亡率が少なく、治療費用が少なかったと報告されています。

### ②国内唯一のCOE(Center of Excellence in Bariatric Surgery)、減量代謝外科領域における卓越した拠点施設)認定

米国Surgical Review Corporation(病院の外部評価機関)により、質の高い減量外科治療を行っている施設として国際認定を受けています。

### ③国際的に広く行われている4種類の手術方法(術式)の中から、個々の患者様にとって最適な方法を提供しています。

### ④患者様の手術はSurgical Review Corporationによる認定を受けた(COEMBS認定外科医)外科医が執刀します。

COEMBS認定外科医は日本に2名しかいませんが、いずれも四谷メディカルキューブに在籍しています。センター長の笠間和典医師は海外でのデモストレーションをこれまでに数多く行っており、その卓越した技術は国際的に高い評価を得ています。

### ⑤専任の減量外科チームがサポートを行います。

高度肥満症はチーム医療が必要な難治性疾患です。四谷メディカルキューブ減量外科センターでは、医師・管理栄養士・看護師・医療ソーシャルワーカーなどからなる、減量外科治療専任のスタッフが患者様のサポートをしっかりと行います。

### ⑥短い入院期間、患者様が速やかに社会復帰できるようサポートします。

四谷メディカルキューブの手術実績は、手術時間、出血量、合併症発生率など、すべての点において国内屈指の優れた成績を誇っています。入院期間は通常、術後3日間(腹腔鏡下調節性胃バッディング術の場合は手術翌日に退院)です。他施設の場合、術前1ヶ月間、術後1-2週間程度の入院を要する場合もあります。

### ⑦重症肥満の患者様を安全に治療するために必要な設備

四谷メディカルキューブでは、重症肥満の患者様の治療を安全に行うために必要な様々な医療設備を整えています。一例を挙げると、手術後に何らかの合併症が発生した場合、緊急でCTスキャンという検査が必要になることがあります。国内の多くの施設に備わっているCT装置は標準的な体重の患者様を想定してものであるため、重症肥満の患者様を検査できない場合があり(制限体重オーバー)、場合によっては致命的な問題を招く可能性があります。

### ⑧合併症発生時、術後長期経過後の体重再増加(リバウンド)時の再手術(リビジョン手術)にも適切に対応

合併症や術後長期経過後の体重再増加(リバウンド)に対して、再手術(リビジョン手術)が必要になる場合があります。その原因にもありますが、多くの場合、別手術への変更(例えば、スリープ状胃切除術からルーウィ胃バイパス術への変更など)が必要になります。複数の手術方法を準備・提供しており、こうしたリビジョン手術にも適切に対応することができる原因是、国内で四谷メディカルキューブのみです。



医療法人社団 あんしん会

# 四谷メディカルキューブ 減量外科をご受診される方へ

## 予約のご案内

一般外来予約窓口へお電話にてお申し込みください。  
完全予約制となっておりますので来院前に必ずご予約をお願い致します。

**03-3261-0430** (月~土: 9時~17時)

受診時には保険証をご持参の上、1階受付にお越し下さい。画像・その他検査結果がございましたら、初診時に当院へご提出ください。

## 保険診療における適応基準について

平成28年度診療報酬改訂（厚生労働省）に伴い、本年4月より、これまで自費診療で行って参りました腹腔鏡下スリーブ状胃切除術が保険診療として受けられるようになります。

### <保険診療で本手術を行う際の適応基準>

- ①6ヶ月以上の内科的治療が行われているにもかかわらず、BMI 35kg/m<sup>2</sup>以上であること
- ②糖尿病、高血圧、脂質異常症のうち1つ以上を有していること

当院での治療をご検討の方は、一般外来予約窓口へお電話にて担当医師の診察予約を取ってください。

## 手術までのながれ

受診者様の状況に応じ、以下のながれとは異なる場合がございます。

①減量・糖尿病外科外来の受診  
初診及び医師・栄養士・トレーナーによるセミナー  
ソーシャルワーカーとの面接  
各種書類の記入

②検査外来の受診  
各種検査（血液検査・内視鏡検査・レントゲンなど）

③手術説明（インフォームドコンセント）  
術前テスト  
手術可否の説明  
手術日、術式決定  
費用説明、同意書

④入院～手術  
手術日の当日に入院して頂きます。

⑤検診  
アンケートに記入  
診察、検査  
栄養指導、運動指導

## 手術料金(概算)のご案内(保険診療)

術式	入院予定期間	3割負担概算金額（室料含む）
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	4泊5日	約80万円

※周術期の安全確保のため、入院中は個室管理（減量外科患者専用の部屋を使用します）となります。

\*お車でお越しの際は → のルートよりお入りください。（➡は一方通行路です。）  
歩くでお越しの際は ⚪➡ のルートよりお入りください。



平成 28 年 6 月 8 日

内科医療機関各位

〒102-0084 東京都千代田区二番町 7-7  
医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ  
減量・糖尿病外科センター長 笠間和典

減量手術（高度肥満症に対する外科治療）の保険診療導入についてのお知らせ

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、平成 28 年度診療報酬改定（厚生労働省）に伴い、当院におきましても、減量手術の術式の一つである、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術（Laparoscopic sleeve gastrectomy）を保険診療として行うことになりましたので、お知らせいたします。

減量手術は内科治療抵抗性の高度肥満症例に対して、長期にわたる減量効果のみならず、肥満関連合併症に対する高い改善効果を有する治療法として、欧米では広く行われており、我が国におきましても肥満人口の増加に伴い、施行件数は増加傾向にあります。当院の減量・糖尿病外科センタースタッフは 2002 年より本治療に取り組んでおり、これまでの手術実績 961 件（2016/3/25 時点）と国内屈指の経験を有しております、国内外で高い評価を受けています。また 2012 年には、米国の病院評価機構である Surgical Review Corporation により優良減量外科施設（International Center of Excellence in Bariatric and Metabolic Surgery: COEMBS）としての認定を国内で唯一、取得しています。

当院での減量手術はこれまで自費診療として行う以外の選択肢がなく、医学的に本治療が必要と考えられる多くの患者様にとって費用面で高いハードルになっていたものと思われますが、今後はより多くの患者様に門戸を開くことが可能になったと考えております。

つきましては、内科的アプローチではなかなか減量効果が得られない高度肥満症の患者様、十分な減量により医学的に健康状態の改善が見込まれる患者様などがおられましたら、是非、当院まで紹介頂けましたらと考えております。

ご不明な点等ございましたら、ご遠慮なく当院減量・糖尿病外科センター（TEL:03-3261-0430）までご連絡頂けたらと思います。

何かとご多用の折に恐れ入りますが、まずは書状をもってお願い申し上げます。

敬具